

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号
特開2006-178247
(P2006-178247A)

(43) 公開日 平成18年7月6日(2006.7.6)

(51) Int.Cl.
G1OK 15/04 (2006.01)

F I
G1OK 15/04 3O2D

テーマコード (参考)
5D108

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 (22) 出願日 (特許庁注：以下のものは登録商標) 1. Bluetooth	特願2004-372498 (P2004-372498) 平成16年12月24日 (2004.12.24)	(71) 出願人 株式会社第一興商 東京都品川区北品川5丁目5番26号 (74) 代理人 100062225 弁理士 秋元 輝雄 (72) 発明者 梅田 誠 東京都品川区北品川5-5-26 株式会 社第一興商内 (72) 発明者 野村 直孝 東京都品川区北品川5-5-26 株式会 社第一興商内 (72) 発明者 糸川 透 東京都品川区北品川5-5-26 株式会 社第一興商内
最終頁に続く		

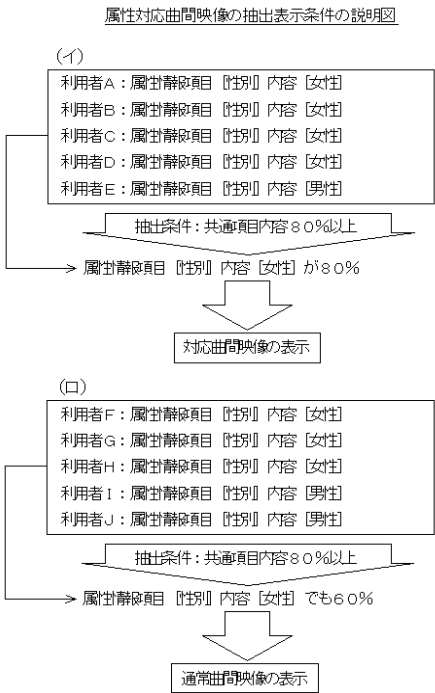
(54) 【発明の名称】 カラオケシステム

(57) 【要約】

【課題】 各カラオケ利用者の属性情報における所定の項目内容が共通している多数派を占める利用者による利用を客観的に判断し、その共通項目内容に即して構成されている曲間映像を抽出して表示し、主に、曲間CMとして利用者に役立つ情報を効果的に提供できるカラオケシステムの提供。

【解決手段】 カラオケ利用者の属性情報における所定の項目内容に紐付けした曲間映像を登録し、所定のカラオケ演奏装置にてログインしている利用者グループにおいて、その属性情報の所定の項目内容が予め設定された割合以上で共通している場合、当該項目内容に対応した曲間映像を抽出し、当該カラオケ演奏装置が付帯する表示手段をもって表示させるようにした。

【選択図】 図8



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

利用者 I D 毎にその属性情報を記録した利用者別属性情報記録部と、当該属性情報の所定の項目内容に対応した曲間映像を登録した属性対応曲間映像登録部と、利用者 I D を特定してシステムへログインするための利用者 I D 識別手段と、所定のカラオケ演奏装置にてログインしている利用者を記録したログイン利用者記録部と、前記属性対応曲間映像登録部から任意の曲間映像を抽出し、適宜のタイミングで、これを当該カラオケ演奏装置が付帯する表示手段をもって表示させるための曲間映像抽出表示手段と、これら機能手段を統括的に制御し管理するための中央制御手段と、を具備したシステムであって、

前記曲間映像抽出表示手段は、所定のカラオケ演奏装置にてログインしている利用者において、前記ログイン利用者記録部に記録されている利用者の所定の項目内容が予め設定された割合以上で共通している場合、当該項目内容に対応した曲間映像を前記属性対応曲間映像登録部から抽出し、当該カラオケ演奏装置が付帯する表示手段をもって表示させることを特徴とするカラオケシステム。 10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、所定のカラオケ演奏装置の利用者グループに対し、適宜のタイミングで、当該グループに好適な曲間映像を表示させるカラオケシステムに関する。

【背景技術】

【0002】

最近のカラオケ演奏装置は、その付帯するディスプレイに映像出力する、カラオケ利用者が予約したカラオケ楽曲を演奏する演奏モードの他に通称「曲間 CM」（通称「ICM」）モードがあり、カラオケ楽曲の非演奏時に自動的にモードが切替わるように構成されている。すなわち、現在のカラオケシステムでは、利用者がカラオケ楽曲を予約登録する前の時間や予約登録されたカラオケ楽曲の演奏間ないし演奏前後に、広告・宣伝を目的とした「曲間 CM」を主体とする曲間映像が自動的に出力される。この曲間映像には様々な種類があり、例えば、プロモーションビデオなどで構成された新譜やお奨め曲ないし新人アーティストの紹介あるいは地域性や時事性のあるサービスや商品の紹介、さらには、カラオケ楽曲に関連した音楽 CD や DVD の紹介などがあり、これらの情報はカラオケを楽しむながら得ることができるため、カラオケ利用者の情報源として非常に役立っている。 30

【0003】

従来、このような曲間映像を出力するカラオケ演奏装置に関する技術は多々想到されている。例えば、特許文献 1 では、曲紹介の曲間映像を設け、これによってカラオケ楽曲を 1 曲ずつ紹介している時、カラオケリモコン装置から簡略なキー操作を行うことにより、その楽曲を自動的に演奏する技術が開示されている。また、特許文献 2 では、ICM データを楽曲データと同じ番号を付して記憶し、カラオケ楽曲を予約する曲番号入力と同じ操作で ICM を予約できるようにした技術が開示されている。

【0004】

【特許文献 1】特開 2000-099045 号公報 40

【特許文献 2】特開 2002-251399 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

ところで、現在のカラオケシステムでは、カラオケホスト装置には予め会員利用者の I D およびその属性情報が登録されており、このホスト装置にネットワーク通信回線を介して接続された所定のカラオケ演奏装置にて利用者 I D が特定されシステムへログインすると、システムを現在利用中の利用者 I D として、ログインしたカラオケ演奏装置毎にこれを管理するように構成されている。したがって、ホスト装置に接続している如何なるカラオケ演奏装置を利用している利用者のそれぞれが、どのような属性情報の項目内容を有し 50

ているかを確認することもできるようになっている。

【0006】

さて、最近では曲間CMの種別も多用化しており、例えば、アーティストの関連情報や新曲情報の紹介、あるいは店舗や商品・サービスの紹介などがある。そして、老若男女間には嗜好や興味の違いがあるが、従来では、この差異は考慮に入れられずに曲間CMが流されている。ところが、実情では、カラオケでのグループ利用の場合、グループの各利用者には、ある種の共通性があることが多い、例えば、同年代、同性、同職業、同趣味、同窓等々である。この場合には、利用者間で嗜好や興味が共通することが多い。さらに、従来では、カラオケ利用者が「仲間内」、すなわち、共通の属性情報の項目内容を有する多数派を占める利用者が利用しているかを客観的に判断するシステムは確立しておらず、各利
10

【0007】

そこで、本発明は、上記不都合を解消するために想到されたもので、すなわち、各カラオケ利用者の属性情報における所定の項目内容が共通している多数派を占める利用者による利用を客観的に判断し、その共通項目内容に即して構成されている曲間映像を抽出して表示し、主に、曲間CMとして利用者に役立つ情報を効果的に提供できるカラオケシステムの提供を課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記課題を鑑み、本発明者は、カラオケ利用者の属性情報における所定の項目内容に紐付けした曲間映像を登録し、所定のカラオケ演奏装置にてログインしている利用者グループにおいて、その属性情報の所定の項目内容が予め設定された割合以上で共通している場合、当該項目内容に対応した曲間映像を抽出し、当該カラオケ演奏装置が付帯する表示手段をもって表示させるカラオケシステムを構築することで、上記課題を解決できることを見出し、本発明のカラオケシステムを想到した。

【0009】

すなわち、本発明の請求項1記載のカラオケシステムは、利用者ID毎にその属性情報を記録した利用者別属性情報記録部と、当該属性情報の所定の項目内容に対応した曲間映像を登録した属性対応曲間映像登録部と、利用者IDを特定してシステムへログインするための利用者ID識別手段と、所定のカラオケ演奏装置にてログインしている利用者を記録したログイン利用者記録部と、前記属性対応曲間映像登録部から任意の曲間映像を抽出し、適宜のタイミングで、これを当該カラオケ演奏装置が付帯する表示手段をもって表示させるための曲間映像抽出表示手段と、これら機能手段を統括的に制御し管理するための中央制御手段と、を具備したシステムであって、
30

前記曲間映像抽出表示手段は、所定のカラオケ演奏装置にてログインしている利用者において、前記ログイン利用者記録部に記録されている利用者の所定の項目内容が予め設定された割合以上で共通している場合、当該項目内容に対応した曲間映像を前記属性対応曲間映像登録部から抽出し、当該カラオケ演奏装置が付帯する表示手段をもって表示させる
40

【発明の効果】

【0010】

したがって、本発明の請求項1記載のカラオケシステムによれば、利用者の属性情報における所定の項目内容が予め設定された割合以上（例えば、80%以上）で共通している場合、これを所定の項目内容が共通している多数派を占める利用者による利用と判断し、その共通項目内容に即して構成されている曲間映像を抽出して表示し、主に、曲間CMとして利用者に役立つ情報を効果的に提供できるといった効果を奏する。

【発明を実施するための最良の形態】

【0011】

10

20

30

40

50

以下、本発明のカラオケシステムについて、好適な実施例を挙げて説明するが、先ず、図1に示す、本発明のカラオケシステムの全体構成図と、図2に示す、本発明のカラオケシステムを構成するカラオケ演奏装置のブロック構成図と、図3に示す、本発明のカラオケシステムを構成するカラオケホスト装置のブロック構成図と、図4に示す、利用者別属性情報管理テーブルの概略的構成図と、図5に示す、属性対応曲間映像管理テーブルの概念的構成図に基づき詳述する。

【実施例1】

【0012】

図1に示すように、本実施例のカラオケシステム(1)は、主に、カラオケボックスの店舗内に設置された複数のカラオケルーム(K, K...)のそれぞれに備えられたカラオケ演奏装置(P, P...)と、これらと店舗内LAN上のルータから、ADSLやISDNといった通信回線(N)を介してインターネット(Ni)におけるカラオケ事業者が管理するVPN(Virtual Private Network)にて接続された、通信カラオケシステム用のカラオケホスト装置(H)から構成される。

【0013】

具体的には、本実施例では、店舗内に100BASE-T規格のEthernet(登録商標)によるLANが敷設され、このLAN上の各カラオケ演奏装置(P)はルータを介してインターネット(Ni)上のVPNからカラオケホスト装置(H)に接続している。さらに、LAN上のコンピュータ間の通信にもTCP/IPが採用されており、ルータは、その内蔵するDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバ機能によって、LANに接続されている各カラオケ演奏装置(P)にIPアドレスを割り当て、各演奏装置(P)のMAC(Media Access Control)アドレスとIPアドレスとを対応付けしたテーブルを作成して記憶している。

【0014】

各カラオケ演奏装置(P)には、楽曲検索機能を備えたカラオケリモコン装置(R)が付帯されており、このリモコン装置(R)をもって、利用者は赤外線信号によりカラオケ演奏装置(P)に所望の演奏予約コマンドを送信する。本実施例のリモコン装置(R)はその内蔵2次電池に充電するための専用架台を必要とするが、この専用架台には、充電手段の他、利用者IDを識別し、当該利用者のログインを識別するための利用者ID識別手段が付帯されている。本実施例の利用者ID識別手段は、非接触のICモジュールを搭載したIDカードの読み取り/書き込み装置であり、カードIDに紐付けされた利用者IDを特定するものである。ただし、本発明はこれに限らず、例えば、ICモジュールを携帯電話に内蔵させたIC機能付き携帯電話や、近距離無線通信手段であるブルートゥース(blue tooth)機構を有する携帯電話、あるいは、パスワードの入力装置や指紋や声紋などの生体識別機能に依る機構の利用者ID識別手段を利用しても構わない。

【0015】

次に、図2に示すように、本実施例のカラオケ演奏装置(P)は、主に、カラオケ装置全体を統括的に制御する中央制御手段(2)とこれに接続された各種機器にて構成されている。すなわち、この中央制御手段(2)は、カラオケホスト装置との通信を制御するための通信制御手段(12)、その付帯するリモコン装置(R)の利用者インタフェースからの操作信号を制御するための操作制御手段(13)、利用者IDを特定してシステムへログインするための利用者ID識別手段(17)、そして、本発明の曲間映像を抽出し、当該カラオケ演奏装置(P)が付帯する表示手段(D)をもって表示させるための曲間映像抽出表示手段(15)などを統括的に制御すると共に、ハードディスク(3)、RAM(4)、音源(5)、ミキサ(6)、サウンドシステム(7)、PCMデコーダ(8)、MP3デコーダ(10)、合成回路(11)などが接続されている。

【0016】

ここで、カラオケ演奏装置（P）の構成要素について少々詳述する。先ず、音源（5）は、中央制御手段（2）が実行するシーケンサ（14）における楽曲シーケンサの処理によって入力された演奏データに応じて楽音信号を形成する。形成された楽音信号はミキサ（6）に入力され、このミキサ（6）は、音源（5）が発生した複数の楽音信号やカラオケマイク（M）と、A/Dコンバータ（9）を介して入力された利用者の歌唱音声信号を適当なバランスでミキシングする。ミキシングされたデジタル音声信号はサウンドシステム（7）に入力される。このサウンドシステム（7）はパワーアンプを備え、入力されたデジタル信号をアナログ信号に変換して増幅し、スピーカ（S）から楽音と歌唱音声を放音する。

【0017】

ハードディスク（3）に記録されている背景映像データ（20）や曲間映像データ（21）は、MPEG形式にエンコードされており、中央制御手段（2）が実行する背景映像再生手段（図示省略）により再生処理を行い、これを読み出してMPEGデコーダ（10）に入力する。このMPEGデコーダ（10）は入力されたMPEGデータをNTSCの映像信号に変換して合成回路（11）に入力し、この合成回路（11）はこの背景映像の映像信号上に歌詞テロップや採点表示などのOSDを合成し、合成された映像信号は表示手段（D）に表示される。

【0018】

シーケンサ（14）は楽曲コードで識別される演奏データをハードディスク（3）に記録されている楽曲コード（18）に紐付けされた演奏データ（19）を読み出す。このシーケンサ（14）は主に楽曲シーケンサおよび歌詞シーケンサからなっており、楽曲シーケンサは演奏データ中の演奏データトラック、ガイドメロディトラックなどのトラックデータを読み出し、このデータで音源（5）を制御することでカラオケ楽曲の演奏を行い、一方、歌詞シーケンサは文字パターン作成手段を備えており、演奏データ中の歌詞トラックのデータを読み出し、このデータに基づいて歌詞テロップの画像パターンを作成して、これを合成回路（11）に出力する。

【0019】

ログインインタフェイス（16）は、利用者ID識別手段（17）より利用者IDに基づくシステムへのログイン信号を受信するもので、中央制御手段（2）は、さらに、これをカラオケホスト装置に転送してログインを最終的に確認する。これにより、ログインが確認された場合、その利用者IDがハードディスク（3）に設けられたログイン利用者記録部（22）に記録される。このように、利用者IDが確認される毎、後述するように、その属性情報の所定項目の内容が参照される。また、ハードディスク（3）における曲間映像データ（21）の記録部には属性対応曲間映像登録部（21a）も設けられており、そのデータはカラオケホスト装置から転送され、内容の追加・変更・削除などの処理が行われて逐次更新がなされる。そして、曲間映像抽出表示手段（15）は、この属性対応曲間映像登録部（21a）から任意の曲間映像を抽出し、カラオケ楽曲の演奏間ないし演奏前後といった適宜のタイミングで、合成回路（11）を経由して、表示手段（D）をもって表示させる。

【0020】

さらに、図3に示すように、カラオケホスト装置（H）は、カラオケ演奏装置（P）と同様に、ホスト装置（H）全体を統括的に制御する中央制御手段（31）と、様々なデータを記録するハードディスク（32）から構成され、通信制御インタフェイス（30）を介してカラオケ演奏装置（P）とのデータ交換を行う。そして、そのハードディスク（33）には、利用者別属性情報記録部（33）と属性対応曲間映像登録部（34）が設けられている。

【0021】

利用者別属性情報記録部（33）には、予め利用者IDおよびその属性情報が記録されており、具体的には、利用者ID（33a）が登録され、利用者別属性情報管理テーブル（T1）が形成されている。この管理テーブル（T1）は、図4に示すように、利用者I

10

20

30

40

50

Dを紐付けし、様々な属性情報を管理している。その主な構成は、例えば、利用者を特定するための「利用者ID」フィールド（f1）や、利用者の氏名を示す「氏名」フィールド（f2）や、性別を示す「性別」フィールド（f3）や、生年月日を示す「生年月日」フィールド（f4）や、住所を示す「住所」フィールド（f5）の他、利用者が卒業した出身校を示す「出身校」フィールド（f6）等々、あるいは、利用者が好むプロスポーツチームを示す「好きなスポーツチーム」フィールド（fx）などからなる。それぞれのフィールドは、その属性情報の所定項目であり、利用者毎に項目内容が記録されている。

【0022】

一方、属性対応曲間映像登録部（34）には、予め属性情報の項目内容およびその対応曲間映像と、各映像を特定するための映像コード（34a）が記録されており、これに紐付けされ、属性対応曲間映像管理テーブル（T2）が形成されている。この管理テーブル（T2）は、図5に示すように、属性情報の所定の項目内容に対応した曲間映像を管理しており、その主な構成とは、例えば、各曲間映像を特定するための「映像コード」フィールド（f10）や、属性情報の項目を示す「属性情報項目」フィールド（f11）や、その属性情報の所定の項目内容を特定するための「項目内容」フィールド（f12）に加えて、表示手段に表示するための曲間映像を示す「対応曲間映像」フィールド（f13）などからなる。

【0023】

因みに、図5の（イー1）では、「属性情報項目」フィールド（f11）には「性別」が定められ、その「項目内容」フィールド（f12）には「男性」が定められており、この条件で対応する曲間映像が「対応曲間映像」フィールド（f13）に登録されている。同様に、（イー2）では、「属性情報項目」フィールド（f11）には「性別」が定められ、その「項目内容」フィールド（f12）には「女性」が定められており、この条件で対応する別の曲間映像が「対応曲間映像」フィールド（f13）に登録されている。これと同様に、（ロー1）や（ロー2）…では、「属性情報項目」フィールド（f11）には「住所」が定められ、それぞれの「項目内容」フィールド（f12）には、それぞれ別の地域名（「東京」、「大阪」…）が定められている。さらに、（ハー1）や（ハー2）…では、「属性情報項目」フィールド（f11）には「年代」が定められ、それぞれの「項目内容」フィールド（f12）には、それぞれ別の年代（「10代」、「20代」…）が定められている。

【0024】

なお、本実施例では、カラオケホスト装置内に利用者別属性情報記録部を設け、このカラオケホスト装置にネットワーク通信接続された如何なるカラオケ演奏装置からへも当該情報を還元できるため、グローバルな顧客サービスができるが、本発明はこれに限定されず、この利用者別属性情報記録部を個々のカラオケ演奏装置に設けることで、個々のカラオケ演奏装置にて、スタンドアロンの本カラオケシステムを稼働させることもできる。

【0025】

次に、図6に示す、カラオケ演奏装置が付帯するリモコン装置の外観斜視図と、図7に示す、利用者別ログイン・ログアウト指示のインタフェース表示画面と、図8に示す、属性対応曲間映像の抽出表示条件の説明図に基づき、本発明のカラオケシステムの仕組みと操作手順について詳述する。

【0026】

図6の（イ）に示すように、本実施例のリモコン装置（R）の正面には、液晶ディスプレイ（LCD；Ra）とタッチセンサ（Rb）とを積層したタッチパネルを主体とした利用者インタフェースが備えられ、GUI（Graphical User Interface）環境を提供し、このGUI環境による対話を通じて楽曲索引データベース（図示省略）を検索し、その結果を表示出力させることで検索機能を実現している。また、図6の（ロ）に示すように、その背面の下方所定部にはLANポート（Rc）が設けられており、LAN接続ケーブルを介してカラオケ演奏装置に各種データが送信される。

【0027】

次に、図7は、このリモコン装置（R）の利用者インタフェースを利用した利用者別ログイン・ログアウト指示の表示画面である。この表示画面には、利用者別顔写真付きアイコン列（40）やカラオケシステムへのログインをするための「ログイン」アイコン（41）、ログアウトをするための「ログアウト」アイコン（42）などが設けられている。このリモコン装置を前述した専用架台に装着した状態で、先ず、「ログイン」アイコン（41）を選択した後、当該専用架台に付帯したIDカードの読み取り／書き込み装置（利用者ID識別手段）に自らのIDカードを装填することにより、これに紐付けされた利用者IDが識別されると同時にログインが識別される。

【0028】

ログインが識別されると、カラオケホスト装置に予め登録された利用者の顔写真あるいは予め登録されていない場合、デジタルカメラ機能を使って撮影した利用者の顔写真を新たに登録して、順次、所定の利用者別顔写真付きアイコン（40a）を利用者毎に掲載された利用者識別用インタフェースが作成される。したがって、本実施例では、この利用者別顔写真付きアイコン（40a）に表示されている利用者が、このカラオケ演奏装置にてログインしている利用者として見なされ、その利用者において、前述したログイン利用者記録部に記録されている利用者の所定の項目内容が予め設定された割合以上で共通している場合、当該項目内容に対応した曲間映像を抽出し、当該カラオケ演奏装置が付帯する表示手段をもって、曲間映像として表示させる。

【0029】

図8には、（イ）利用者A～Eおよび（ロ）利用者F～Hの各5名が、それぞれ所定のカラオケ演奏装置にてログインしている状態を示している。このシステムでは、曲間映像の抽出条件として、共通している項目内容が80%以上の割合としており、先ず、図8の（イ）に示すように、利用者A～Dの属性情報項目「性別」の内容が「女性」で共通しており、利用者Eの属性情報項目「性別」の内容が「男性」で他者と異なっているが、項目内容「女性」が条件80%の割合に達しているため、この場合は、当該項目内容に対応した女性向けの曲間映像が曲間映像として抽出され表示される。一方、（ロ）の場合では、利用者F～Hの属性情報項目「性別」の内容が「女性」で共通しているが、利用者Iと利用者Jの属性情報項目「性別」の内容が「男性」で異なっており、最大割合でも項目内容「女性」が60%であるため、属性対応曲間映像は抽出されず表示されず、属性情報の所定の項目内容に対応がなされていない一般的な曲間映像が表示される。なお、本実施例では、抽出条件を80%としたが、本発明はこれに限定されず、70%、90%、100%あるいは、もっと詳細な数字を設定しても構わない。ただし、本発明の目的を鑑み、50%以上が好ましい。

【0030】

以上、詳述したように、本発明のカラオケシステムによれば、利用者の属性情報における所定の項目内容が予め設定された割合以上で共通している場合、これを所定の項目内容が共通している多数派を占める利用者による利用と判断し、その共通項目内容に即して構成されている曲間映像を抽出して表示し、主に、曲間CMとして利用者に役立つ情報を効果的に提供できる。

【図面の簡単な説明】

【0031】

【図1】本発明のカラオケシステムの全体構成図。

【図2】本発明のカラオケシステムを構成するカラオケ演奏装置のブロック構成図。

【図3】本発明のカラオケシステムを構成するカラオケホスト装置のブロック構成図。

【図4】利用者別属性情報管理テーブルの概念的構成図。

【図5】属性対応曲間映像管理テーブルの概念的構成図。

【図6】カラオケ演奏装置が付帯するリモコン装置の外観斜視図。

【図7】利用者別ログイン・ログアウト指示のインタフェース表示画面。

【図8】属性情報対応曲間映像の抽出表示条件の説明図。

【符号の説明】

10

20

30

40

50

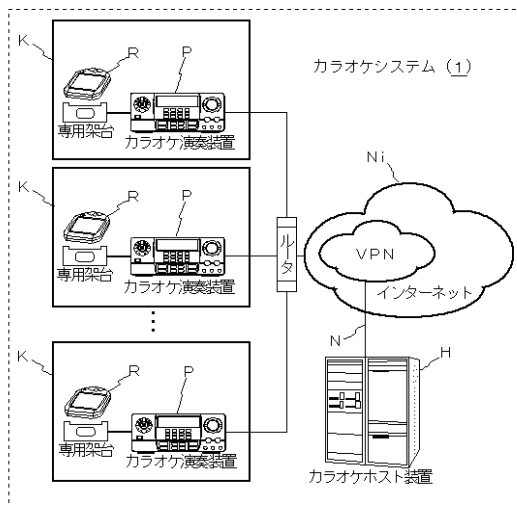
【0032】

- 1 カラオケシステム
- 2, 31 中央制御手段
- 3, 32 ハードディスク
- 15 曲間映像抽出表示手段
- 16 ログインインタフェース
- 17 利用者ID識別手段
- 21 曲間映像データ
- 21a, 34 属性対応曲間映像登録部
- 22 ログイン利用者記録部
- 33 利用者別属性情報記録部
- T1 利用者別属性情報管理テーブル
- T2 属性対応曲間映像管理テーブル
- P カラオケ演奏装置
- H カラオケホスト装置
- R カラオケリモコン装置

10

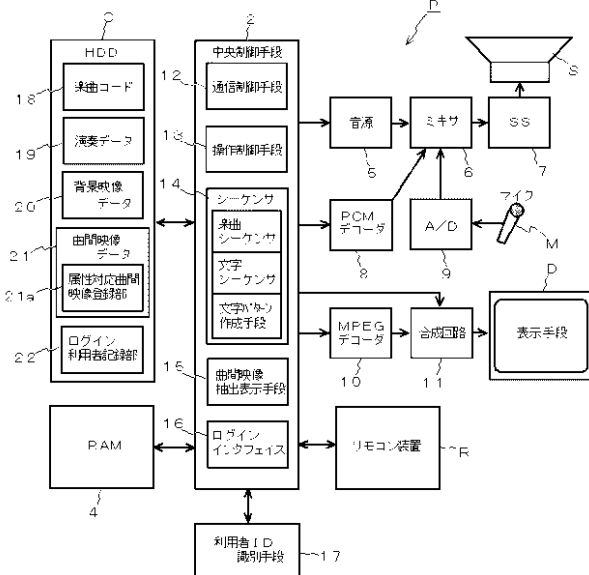
【図1】

本発明のカラオケシステムの全体構成図



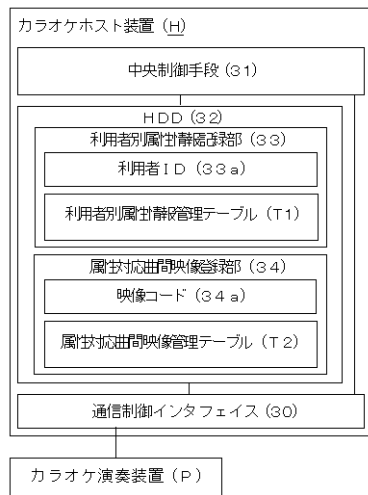
【図2】

本発明のカラオケシステムを構成するカラオケ演奏装置のブロック構成図



【図 3】

本発明のカラオケシステムを構成するカラオケホスト装置のブロック構成図



【図 4】

利用者別属性情報管理テーブルの概念的構成図

f1	f2	f3	f4	f5	f6	f7
利用者ID	氏名	性別	生年月日	住所	出身校	好きなアーティスト
※※※※※※	※※※※※※※※	※※	※※※※※※	※※※※※	※※※※※	※※※※※※※※※※
※※※※※※	※※※※※※※※	※※	※※※※※※	※※※※※	※※※※※	※※※※※※※※※※
※※※※※※	※※※※※※※※	※※	※※※※※※	※※※※※	※※※※※	※※※※※※※※※※
※※※※※※	※※※※※※※※	※※	※※※※※※	※※※※※	※※※※※	※※※※※※※※※※
※※※※※※	※※※※※※※※	※※	※※※※※※	※※※※※	※※※※※	※※※※※※※※※※

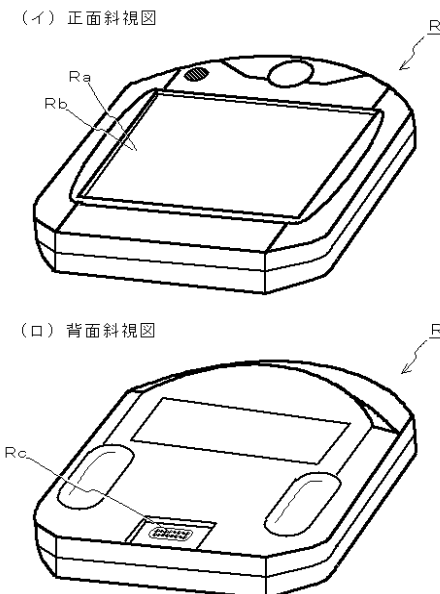
【図 5】

属性対応曲映像管理テーブルの概念的構成図

(イ-1)	(ロ-1)
f10 映像コード ※※※※※-※※※	f10 映像コード ※※※※※-※※※
f11 属性静像項目 性別	f11 属性静像項目 住所
f12 項目内容 男性	f12 項目内容 東京
f13 対応曲映像 ※※※※※※※※※※	f13 対応曲映像 ※※※※※※※※※※
(イ-2)	(ロ-2)
f10 映像コード ※※※※※-※※※	f10 映像コード ※※※※※-※※※
f11 属性静像項目 性別	f11 属性静像項目 住所
f12 項目内容 女性	f12 項目内容 大阪
f13 対応曲映像 ※※※※※※※※※※	f13 対応曲映像 ※※※※※※※※※※
(イ-3)	
f10 映像コード ※※※※※-※※※	
f11 属性静像項目 年代	
f12 項目内容 10代	
f13 対応曲映像 ※※※※※※※※※※	
(イ-4)	
f10 映像コード ※※※※※-※※※	
f11 属性静像項目 年代	
f12 項目内容 20代	
f13 対応曲映像 ※※※※※※※※※※	

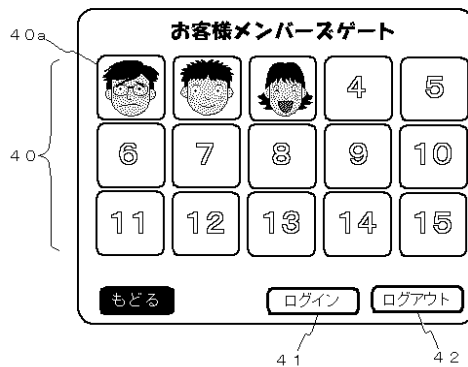
【図 6】

カラオケ演奏装置が付帯するリモコン装置の外観斜視図



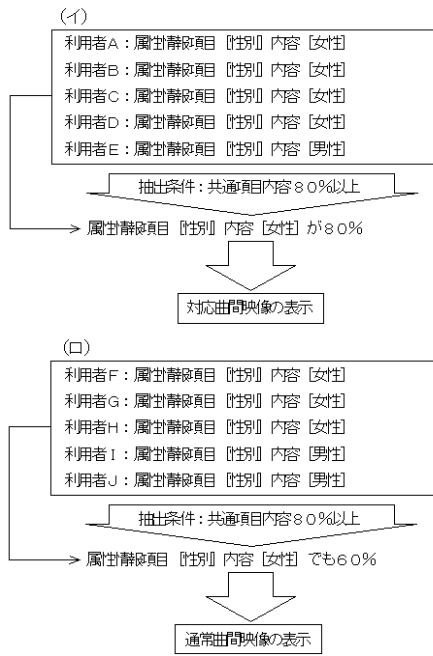
【図 7】

利用者別ログイン・ログアウト指示のインタフェース表示画面



【図 8】

属性対応曲問映像の抽出表示条件の説明図



フロントページの続き

(72)発明者 篠崎 久美

東京都品川区北品川5-5-26 株式会社第一興商内

Fターム(参考) 5D108 BA04 BA36 BE06 BG08